

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		ごみ収集作業運営(ごみ収集管理)				所管	環境清掃部 清掃リサイクル課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 平成12年度		
		[小 柱]					[終了予定] - 年度		
		[施 策]							
	根拠法令等	法令(義務)	[法令等名]	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
	事業対象	一般区民・区のごみ収集を利用する事業者							
	事業目的	一般廃棄物の収集・運搬業務を行うことにより、生活環境を清潔にする。また、廃棄物の適正な排出を促すことにより、廃棄物の減量と資源化の促進を図る。							
	事業内容	家庭及び事業所から排出される一般廃棄物の収集・運搬業務を行う。また、適正な分別排出の指導を行う。							
委託の有無	一部委託	委託内容	・廃棄物埋立処分業務委託 ・粗大ごみ収集運搬業務委託						
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	区収集ごみ量実績 t		41,071	46,903	46,836	45,939(速報値)		
		区民1人1日あたりのごみ量 g		626	754	740	718		
	決算額 (単位:千円)					702,433	689,169	743,491	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				7,201	7,881	7,669	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				702,433	689,169	743,491	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				0	0	0	
		総経費				709,634	697,050	751,160	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				298,064	288,605	306,382	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	57	
一般財源(区負担額)				411,570	408,445	444,721			
前年度から改善した事項	ごみの減量について、ここ数年は微減の傾向となっており、人口増により増加してしまう可能性もあったため、新たなごみ減量の施策として、ごみの戸別収集を区内全域へと拡大する取り組みを開始した。この取り組みにより、ごみの減量を進めているほか、集積所をめぐる問題の解消も図っている。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	4	区民の生活環境の保全を図る上で、必要不可欠な事業である。適正な分別の促進や資源化の向上を図り、ごみを減量するためには、直営職員による排出指導が必要である。						
	効率性	4	戸別収集の拡大開始により、収集車両や人員が増となったが、拡大の地域割りを小さくし、戸別収集が定着した地域からは、増車した車両を引き上げ、次の拡大地域へと回しているため、経費の増を最小限に抑えている。						
	手段の適切性	4	燃やすごみ・燃やさないごみの収集は、排出指導と一体であることから、直営職員により行い、運搬については、一部の車両を除き、民間事業者から配車を受けて行っている。また、排出指導を伴わない粗大ごみの収集運搬業務については民間事業者に委託している。						
	目的達成度	2	戸別収集の拡大を契機に分別意識が向上するなど、1人1日当たりのごみ量は、前年度実績よりも減量をすることができた。また、人口が増加する中で、区収集ごみ量についても、減量が図れている。						
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 拡大改善維持縮小廃止・終了		
平成25年度から平成27年度までの3年間で、区内全域を戸別収集とする計画で拡大を進めている。区民生活に混乱をきたさないよう、丁寧に周知やフォローを行いながら拡大を進めて行くことが重要である。現在は、区内全域への拡大途中であり、拡大2年目、3年目においても、同様の取り組みが必要である。									